

環境安全委員会

Environment & Safety Committee

Environmental Report 2005



環境安全委員会は、製薬協会会員会社が連携し、地球環境保護ならびに労働安全衛生のあるべき姿に向かって自主的に参画し協働で取り組んでいる組織です。

環境問題や労働安全衛生に係る課題への積極的な取り組みは、安全で有用な医薬品を開発し安定的に供給することと並んで製薬会社の事業継続に不可欠な経営課題のひとつであると考え、会員会社が、委員や専門委員として活動しています。

地球温暖化防止や医療廃棄物の発生抑制、有害汚染物質の排出削減あるいは労働災害や健康被害の防止等、会員会社が取り組んでいる環境安全施策の全体の方向付けを行い、目標と計画を策定し、その進捗状況をフォローアップするとともに各会社の対策推進を支援しています。また、会員会社相互の情報交換や国の施策、環境技術情報の普及等を図るための技術研修会やセミナーを開催しています。

■ 組織

環境安全委員会は、委員および専門委員で構成し、「総会」「幹事会」「専門部会」の組織を設置しています。年1回開催する総会では、委員により方針、年度事業計画等が議決されます。幹事会は、委員長・副委員長、各部会の部会長・副部会長、製薬協事務局等で組織し、事業計画の推進や総合的な調整を行

います。専門部会は、専門委員がそれぞれの課題についてワーキンググループを編成し、調査研究、研修会の企画、報告書の作成等の活動をしています。専門部会には、研究会を設置しそれぞれテーマについて専門委員以外の会員会社からも参加し活発でオープンな活動を行っています。

